



請求管理ロボ

仕訳連携仕様書(free)
～第2版～

はじめに

<概要>

- ・システム上作成されている仕訳の一覧のご確認と会計ソフト連携用
エクスポートフォーマットの出力が可能です。
- ※エクスポートフォーマットに関しては、
現状、freeeの他、弥生会計、勘定奉行、PCA会計、MF会計に対応しております。
- ・システム上作成される仕訳の勘定科目名と補助科目コードの設定が可能です。

請求管理ロボからの仕訳データCSVのエクスポート、
仕訳ソフトへのインポートにより仕訳の登録を一括で行うことができます。

<注意事項>

以下機能のご利用をご希望の場合、
別途オプションのご契約が必要でございますので、
ご希望の場合は以下のメールアドレスにお問い合わせをお願い致します。

<ご連絡先メールアドレス>

support@billing- robo.jp

目次

- » CSVエクスポート手順 4
- » エクスポートデータの基本仕様 5
- » freee会計と請求管理ロボ項目対照表 5.6
- » freeeインポート仕様(補足資料) 7

CSVエクスポート手順

管理画面上部タブの仕訳→仕訳伝票エクスポートからエクスポートします。

仕訳伝票エクスポート

伝票日付: 2018/04/01 ~ 2018/04/30

データ作成日: 日付 ~ 日付

エクスポート済み: 未エクスポート

エクスポート

- ①伝票日付 : 会計の計上日付け
- データ作成日 : 仕訳データが作成された日(請求書の作成日or売上計上日)
- エクスポート済み : 既にエクスポートしたデータか未エクスポートのデータ

②上記条件設定を行いエクスポートをクリック

下記のような仕訳ソフトへ連携可能なデータが出力されます。
(項目フォーマット参照)

	A	B	C	D	E	F	J	K	L	M	N	O	P
1	[表題行]	日付	伝票No.	借方勘定科目	借方補助科目	借方部門	借方勘定科目	借方補助科目	貸方部門	貸方税区分	貸方金額	貸方税額	摘要
2	[四角細行]	2018/4/1	1	14011			対: 14011		1001	対象外	10800	0	201804-101-1
3	[四角細行]	2018/4/1	1				対: 32101		1001	対象外	97200	0	201804-101-2
4	[四角細行]	2018/4/1	2	14011		1001	対: 14011			対象外	108000	0	201804-101-3
5	[四角細行]	2018/4/1	2	32101			対: 32101			対象外	0	0	201804-101-4
6	[四角細行]	2018/4/1	3	14011			対: 14011		1001	対象外	540	0	201804-101-5
7	[四角細行]	2018/4/1	3				対: 32101		1001	対象外	3780	0	201804-101-6
8	[四角細行]	2018/4/1	4	14011		1001	対: 14011			対象外	4320	0	201804-101-7
9	[四角細行]	2018/4/1	4	32101			対: 32101			対象外	0	0	201804-101-8
10													

エクスポートデータの基本仕様

- »出力ファイル名称：freee_yyyymmdd.csv
- »出力フォーマット形式：カンマ（CSV）形式
- »文字コード：Shift-JIS
- »レコード終端の改行コード：CRLF
- »ヘッダ行の有無：有り（freee項目名）
- »区切り文字：カンマ区切り

文字型項目は""（ダブルクォート）で囲む or 囲まない どちらでも可
（カンマ）を文字として扱う場合は""（ダブルコーテーション）で囲む

»伝票No.の昇順で出力

※弥生会計のフォーマットで出力を行う為、

freeeの弥生会計フォーマットインポート手順を参照し連携を行ってください。

freee会計と請求管理ロボ項目対照表

項番	freee項目名	請求管理ロボ項目名	データ	備考
1	[表題行]	固定出力	文字列	ヘッダー行は[表題行]と出力。 データ行には[明細行]と出力。
2	日付	伝票日付	yyyy/MM/dd	例：2018/04/01
3	伝票No.	伝票No.	数値	複数行伝票の場合、同じ伝票No.となる
4	借方勘定科目	借方_勘定科目コード	文字列	勘定科目マスタで設定した科目コードをそのまま出力。 ※複数行の伝票データで、 借方勘定科目が無い場合は空白
5	借方補助科目	借方_補助科目コード	文字列	各マスタで設定した補助科目コードをそのまま出力。
6	借方部門	借方_請求元部署コード (仕訳連携用コード)	文字列	請求元部署の請求元部署コード (仕訳連携用コード)で設定したコードをそのまま出力。
7	借方税区分	借方_消費税コード	文字列	消費税コード設定画面で設定したコードをそのまま出力。 ※複数行の伝票データで、 借方勘定科目が無い場合でも必須。 借方勘定科目が無い場合は、 「対象外」と記述。
8	借方金額	借方_金額+借方_消費税額	数値	※税込金額を出力 税区分により、下記の値を出力。 外税：金額+消費税 内税：金額 上記以外：金額 ※複数行明細で空欄の場合「0」を出力
9	借方税額	借方_消費税額	数値	※内税の場合は空欄で出力 消費税額が0の場合は0と出力

項番	free項目名	請求管理ロボ項目名	データ	備考
10	貸方勘定科目	貸方_勘定科目コード	文字列	勘定科目マスタで設定した科目コードをそのまま出力。 ※複数行の伝票データで、 貸方勘定科目が無い場合は空白
11	貸方補助科目	貸方_補助科目コード	文字列	各マスタで設定した補助科目コードをそのまま出力。
12	貸方部門	貸方_請求元部署コード (仕訳連携用コード)	文字列	請求元部署の請求元部署コード (仕訳連携用コード)で設定したコードをそのまま出力。
13	貸方税区分	貸方_消費税コード	文字列	消費税コード設定画面で設定したコードをそのまま出力。 ※複数行の伝票データで、 貸方勘定科目が無い場合でも必須。 貸方勘定科目が無い場合は、 「対象外」と記述。
14	貸方金額	貸方_金額+貸方_消費税額	数値	※税込金額を出力 税区分により、下記の値を出力。 外税：金額+消費税 内税：金額 上記以外：金額 ※複数行明細で空欄の場合「0」を出力
15	貸方税額	貸方_消費税額	数値	※内税の場合は空欄で出力 消費税額が0の場合は0と出力
16	摘要	請求書番号	文字列	yyyyymm-請求先コード-連番

freeeインポート仕様

見出し行	必須	形式	備考
[表題行]	必須	文字	入力するすべての行の先頭（一番左）に[明細行]と記載します。
日付	必須	日付形式	例：2015/04/01、平成27年4月1日
伝票No.	必須	半角数字	伝票番号が同じの行の取引は一組の仕訳として認識します。一番上の日付と取引先が、それぞれの行へ適用されます。
借方勘定科目	必須	文字	
借方補助科目	-	文字	アップロード画面で、“口座”/“取引先”/“品目”を選択して取り込みます。異なる文字列の場合、freeeの登録名称とマッチングが必要になります。
借方部門	-	文字	
借方税区分	-	文字	例：課対仕入、共対仕入、対象外
借方金額	必須	半角数字	整数で税込金額を入力します。
借方税額	税抜経理の場合は必須	半角数字	整数で消費税額を入力します。税込経理の場合は空欄にします。
貸方勘定科目	必須	文字	
貸方補助科目	-	文字	アップロード画面で、“口座”/“取引先”/“品目”を選択して取り込みます。異なる文字列の場合、freeeの登録名称とマッチングが必要になります。
貸方部門	-	文字	
貸方税区分	-	文字	例：課税売上、対象外
貸方金額	必須	半角数字	整数で税込金額を入力します。
貸方税額	税抜経理の場合は必須	半角数字	整数で消費税額を入力します。税込経理の場合は空欄にします。
摘要	-	文字	作成される振替伝票において、貸方と借方の両方に備考として設定されます。